

当別町 150 年記念 part シンボルマークに込めた想い 4

38 個のマークに込められた「ストーリー」
を連載で紹介します。



★ストーリー 14 西当別中 2 年 片岡 美克さん



当別のきれいな夕日と、平和をイメージして山と田んぼを描きました。建物や道路などの人工的なものを描かずに、当別の自然がいつまでも残ってほしいと願いを込めました。

☆ 38 個のデザインが一つとなった印象は…

お米・野菜・風景・動物などいろいろなジャンルで当別を表現できていて、とてもよくまとまっていると思います。

★当別町 150 年記念事業実行委員会が 立ち上がりました！ 記念式典、記念イベント は 10/10 (土)、11 (日) 開催！

当別町 150 年記念事業実行委員会設立会議および第 1 回実行委員会が、令和元年 12 月 24 日に役場で行われ、委員長には、あらかじめ宮司町長より指名された山田産商株式会社代表取締役・山田健太さんが就任しました。委員は合計 18 人で構成され、総務・記念式典部会、記念イベント部会、接遇部会の 3 部会を設置し、記念式典、記念イベントの準備を進めていきます。



★ストーリー 13 西当別中 2 年 伊藤 萌さん



当別の自然を描きたくて、最初に森をイメージしました。ふくろうは後ろ姿がかっこいいと思い、かすみ草と白樺がある森の中を抜けて、羽ばたいていくふくろうをデザインしました。

☆ 38 個のデザインが一つとなった印象は…

人によって当別の印象やとらえ方が違っていて、同じテーマで自分の個性を出し、それぞれマークを描いて「すごい」と思いました。

★ストーリー 15 西当別中 2 年 菊地 優妃さん



インターネットで見た当別の亜麻の花がきれいで、亜麻を強調したくて 2 本描きました。白樺は近所に木があることや、「白樺」と名前が付く施設があるので、町になじみのある白樺も合わせてデザインしました。

☆ 38 個のデザインが一つとなった印象は…

38 個がまとまるのか心配だったけど、きれいにまとまったと思います。私以外のマークを見て、亜麻だけではなく当別の魅力全部を見てほしいです。

～山田実行委員長より挨拶～



今回、町からお話をいただいたときに、委員長を引き受けることはおこがましいと思いましたが、いただいたチャンスなので、若い人が当別で頑張って作り上げたことを示せるような式典やイベントにしたいです。特に強く思っているのは、当別の歴史について今までの先人達に感謝ができ、これからの未来について考えるきっかけになるイベントを行いたいです。若い人たちにこのようなチャンスはなかなかないですし、今回私を含めて実行委員には若手の委員がいますので、このチャンスを未来の若い人たちに繋げていかなければならないと思っています。一丸となって頑張っていきますので、町民の皆さま、当別町に関係する皆さまのご協力をいただければと思います。

★問合せ 150 年記念事業室 ☎ 23 - 2330
E-mail : 150years@town.tobetsu.hokkaido.jp